

## 前回の指摘事項について

## 1 出資者、施設管理者のメリット・デメリット

	メリット	デメリット
出資者（地域住民）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少額で太陽光発電設備設置のための投資をすることができる</li> <li>・ マンションに住んでいる方や小規模な事業者など、太陽光発電設備を設置することが難しい方も参加をすることができる</li> <li>・ 環境貢献活動に取り組むことができる</li> <li>・ 計画を上回って発電できた場合、更なる利回りが期待できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太陽光発電設備への投資であるため、長期間の投資となってしまう</li> <li>・ 計画通り発電しなかった場合、元本割れの恐れがある</li> </ul>
施設管理者（市）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境貢献活動に取り組むことができる</li> <li>・ 固定資産税等による収入が期待される</li> <li>・ 事業期間終了後、太陽光発電を取得することができる（SPCとの契約に盛り込む必要あり）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 太陽光発電設備単価が下がりきらないなど採算が合わない場合、一定の支援が求められる</li> </ul>

## 2 コストダウンに向けた取組例

（１）発注ロットを大きくする

中規模施設の一括発注、メガソーラーと共同発注

（２）競争原理を活用する

場所、事業費を示し、提案コンペの実施

場所、容量を示し、入札・見積合わせの実施

（３）PR性を強調する

事業者の看板設置、見学受入、県・市記者発表

（４）事業パートナーとして位置づける

パルメカ、施工業者がファンドに出資